

病気になっても
働き続けられる
職場づくりを
サポートします！



治療と仕事の 両立支援

～がん・脳卒中・心疾患・糖尿病・肝炎・その他難病など～

ご相談は お気軽に

治療と仕事の
両立支援に関する
相談に、電話・
メール・面談等に
より対応します。

セミナー・ 研修の実施

両立支援の普及・
啓発を目的とした
事業者等を対象
とするセミナーを
実施します。

個別訪問支援

両立支援に精通
したスタッフが
事業場を訪問し、
両立支援制度の
導入をサポート
します。

個別調整支援

医療機関と連携
しながら、事業者と
患者(労働者)間の
調整支援を行い、
両立支援プラン・
職場復帰プランの
作成等について
助言・支援をします。

裏面の申込書でお申し込みください



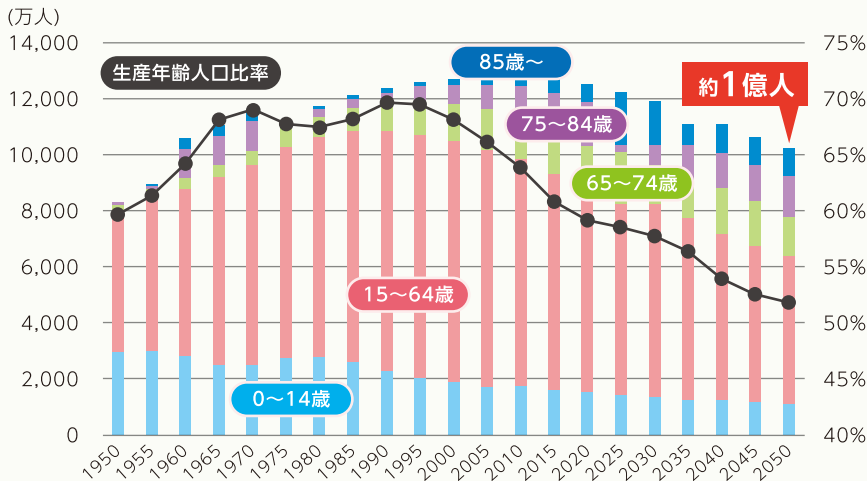
独立行政法人 労働者健康安全機構
宮城産業保健総合支援センター



治療と仕事の両立支援をめぐる状況

日本の将来人口の予測

日本の人口は2050年には約1億人まで減少する見込みです。今後さらに高齢化が進み、労働力が減少。生産年齢人口比率も減少が加速します。



*出典:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」,総務省「人口推計(平成28年)」より経済産業省作成

がん患者の離職率の現状

退職・廃業した人が

約2割

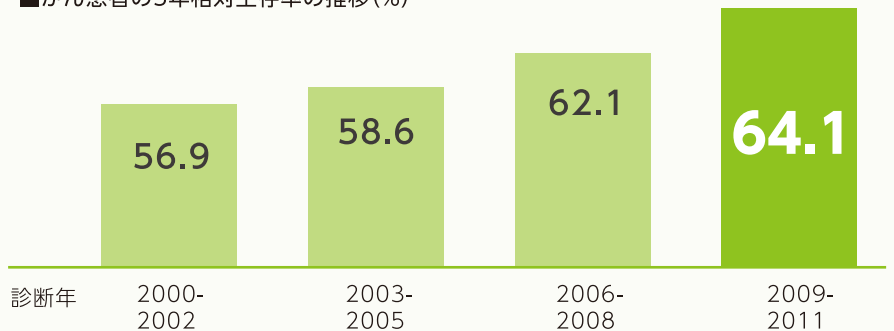
がん治療のため、退職・廃業した人の割合は、2014年で33.2%、2018年で19.2%となっています。全体としては改善傾向にありますが、依然として2割の方が離職をしているという現状は課題といえます。

*出典:国立がん研究センターがん対策情報センター 厚生労働省委託事業 「患者体験調査報告書 平成30年度調査」

疾病を抱える労働者の就業可能性の向上

治療技術の進歩により、かつては「不治の病」とされていた疾病においても生存率が向上し、「長く付き合う病気」に変化しつつあります。病気になったからといって離職しなければならないわけではありません。

■がん患者の5年相対生存率の推移 (%)

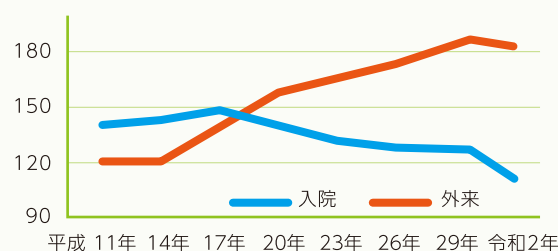


*出典:独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター「全国がん罹患モニタリング集計」

入院日数の短縮化と通院治療へのシフト

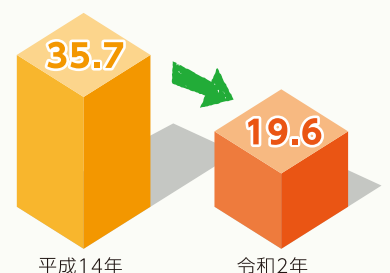
近年の主ながん種の平均入院日数は短くなりつつある一方、外来患者数が増えており、通院しながら治療を受ける患者が増えています。それとともに、治療の副作用や症状等をコントロールしつつ、通院で治療を受けながら仕事を続けている場合が増えてきています。

■入院患者・外来患者数の推移(千人)



*出典:厚生労働省「悪性新生物(がん)の入院患者・外来患者数(令和2年患者調査より)」

■在院日数の推移(日)



*出典:厚生労働省「悪性新生物(がん)の退院患者における平均在院日数(病院・一般診療所)(令和2年患者調査より)」

治療と仕事の両立ができる職場環境の整備

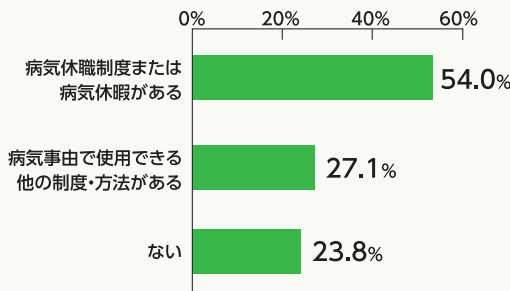
いま、病気療養のための休暇が必要とされています

長期にわたる治療等が必要な疾病等、治療を受けながら就労する労働者をサポートするために付与される休暇です。治療・通院のために時間単位や半日単位で取得できる休暇制度や、年次有給休暇とは別に使うことができる病気休暇の他、療養中・療養後の負担を軽減する短時間勤務制度等も考えられます。

■ 病気休暇制度の導入状況

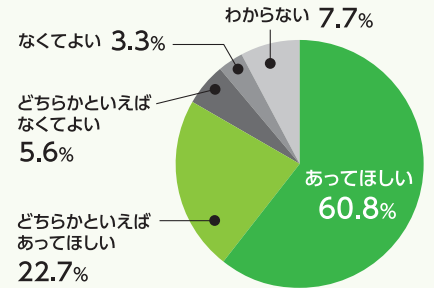
Q 病気休暇制度^{※1}や病気休暇^{※2}はありますか？

複数回答／企業調査結果 (n=2,691)



Q 勤め先に病気休暇制度があってほしいと思いますか？

単数回答／労働者調査結果 (n=5,000)



* 出典:「仕事と生活の調査」の実現及び特別な休暇制度の普及促進に関する意識調査(調査時点:令和3年4月1日)

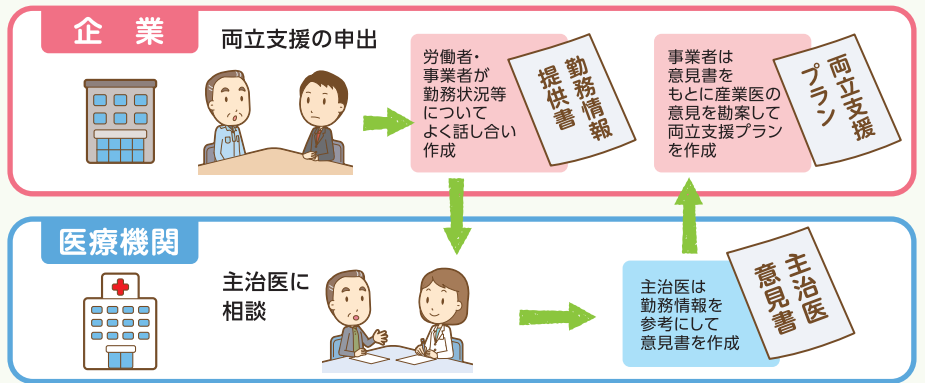
※1: 休暇制度に関する規定のうち、病気を事由としたもの ※2: 病気休暇制度以外で、私傷病の治療等を事由に取得できる特別休暇

両立支援を行うための準備と役割を決めておきましょう

両立支援は職場の健康経営の取り組みのひとつです!



◎ 企業・医療機関における両立支援のための情報のやりとり ◎



産保センターの支援サービスを利用し、両立支援を進めましょう

◎ 宮城産業保健総合支援センターの両立支援体制 ◎



Pick Up!

厚生労働省では、治療と仕事の両立支援ガイドラインを公表しています。事業場で両立支援を行う上で参考となります。

治療と仕事の両立支援申込書

令和 年 月 日

事業場名						
業種		事業内容		労働者数	人	
所在地	〒					
	TEL		FAX			
担当者	部署名			氏名		
	E-mail					
	職種	<input type="checkbox"/> 産業医 <input type="checkbox"/> 保健師・看護師 <input type="checkbox"/> 事業主 <input type="checkbox"/> 労務管理担当 <input type="checkbox"/> 衛生管理者 <input type="checkbox"/> その他()				
訪問希望日	第1希望	令和 年 月 日 ()	午前	午後	時間(: ~)	
	第2希望	令和 年 月 日 ()	午前	午後	時間(: ~)	
	第3希望	令和 年 月 日 ()	午前	午後	時間(: ~)	
希望する支援内容の <input type="checkbox"/> にチェックを入れ、希望する番号に○印を付けてください。						
<input type="checkbox"/> 個別訪問支援 *両立支援に精通したスタッフが事業場を訪問し、両立支援に関する制度導入の支援をします。 1 治療と仕事の両立への理解を促す教育の実施(衛生委員会での啓発教育も実施します) 2 休暇制度、勤務制度の導入への助言・支援等 3 両立支援の対応手順、関係者の役割の整理についての助言・支援等 4 その他(具体的に:)						
<input type="checkbox"/> 個別調整支援 (労働者本人の書面同意が必要) *事業場と患者(労働者)間の、治療と仕事に関する調整支援を行い、両立支援プラン・職場復帰支援プランの作成等について助言・支援します。						
<input type="checkbox"/> 研修の実施 (講師を派遣し研修を実施します) *ガイドライン等の普及・啓発を目的とした研修です。 事業者等の参集する「研修会」等に無料で講師を派遣します。						



【申込先】独立行政法人労働者健康安全機構 宮城産業保健総合支援センター

〒980-6015 仙台市青葉区中央4丁目6番1号 SS30 15階 TEL.022-267-4229

ホームページ: <https://www.miyagis.johas.go.jp>

Eメール: sanpo04@miyagis.johas.go.jp

FAX:022-267-4283

※申込書受理後、当センターからご連絡いたします。

※ご記入いただいた個人情報、産業保健活動総合支援事業の目的以外には使用いたしません。

両立支援医療機関相談窓口も開設しています!

医療機関相談窓口		開設日時	予約先・問合せ先
東北労災病院 地域医療連携センター内	仙台市青葉区台原4-3-21	〈平日〉 8:15~12:15	☎022-275-1111(代)
石巻赤十字病院 総合患者支援センター内	石巻市蛇田字西道下71	〈第3金曜日〉 14:00~16:00	☎0225-21-7220(代)
仙台厚生病院* がん相談支援センター・地域医療連携室	仙台市青葉区広瀬町4-15	〈第3木曜日〉 13:30~15:30	☎022-222-6181(代)
大崎市民病院 患者サポートセンター地域医療連携室	大崎市古川穂波3-8-1	〈第2水曜日〉 10:00~13:00 <small>※上記以外随時予約可能</small>	☎0229-23-3311(代)

*仙台厚生病院は令和6年5月移転予定。詳細は当センターホームページでご確認ください。

(令和6年3月)